

しちぶんめの夏

160728

猫カフェの無料ドリンク券を押し頂き

帽子屋へ急ぐ

この暑さでは帽子が無くては耐えられない

お目当ての帽子屋には女物の装身具、

アクセサリーなどが所狭しと輝いて

男物の帽子は申し訳ないと言うように

わずかばかりが店先で頭を下げる

これが現実なのだ、購買力の乏しい男達

彼ら相手では商売が成り立たない

奥のレジの女性店員に男物のハットが欲しい

とねだり、適当に見繕ってもらいお金を払い

お手間を取らせましたと礼もそそくさ被って

アーケードの奥に進むと再び帽子店

そこには無数の帽子が所狭しと陳列してあり

アクセサリ類や光るものは見当たらない

ああ、ココが本物だったのだ

さっきのは狐のお店だったのかなと

コホンとわざと咳をしてから頭にそつと手をやると

帽子はちゃんと載っていて露の葉では無かったので

一安心

あたりをこつそり伺うとお久しぶりの知り合いが  
ひよつこりと何処かから現れた  
もしかしてと彼の現れたあたりを見渡すと新築の白い家  
まだ足場が組んだままだから完成間近というのだろうが  
魚を煮る匂いが漂ってきて人の住んでいる気配がした

初出「即興ゴルコンダ(仮)」

<http://golconda.bbs.fc2.com/>

タイトルは、阿卜理恵さん。